

西区農業委員会だより

第44号

平成30年
1月1日

新潟市西区農業委員会:〒950-2097 新潟市西区寺尾東3丁目14番41号 TEL 025-264-7811

いつだって、**地元**の食は
あったかい

新しい年を迎えました。

内野は、かつて近郷の村々から農家が野菜を運び、地元五十嵐浜の漁師が海産物をもってきて市場が開かれる在郷町でした。今もかわらず、消費者に「おいしく」をお届けしています。

(写真：内野地区 朝市にて)



新年のごあいさつ

西区農業委員会
会長 本間 雄一



平成30年の年頭にあたり、謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

日頃より、西区農業委員会活動に対し、ご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと、6、7月の日照不足と低温、そして8月の天候不順に加え、9月の台風の影響により、新潟市の水稻作況が「やや不良」となり、西区管内でも、前年に比べかなり良くないのではないかと感じられたところです。また、こしひかりの1等米比率も地区によってはかなり落ち込んだところもあり残念な状況でした。

農業を取り巻く状況としましては、まずTPP（環太平洋連携協定）について、署名11カ国で新協定の大筋合意したところですが、依然米国が復帰を否定している状況であること、また、EPA（日・EU経済連携協定）につきましても、最終合意となったところですが、どちらも政府の対応が拙速に感じられることから、発効までに、国内農業関係者への十分な説明と対応策を講じるよう期待するところです。

身近で最も大きな問題としましては、30年産米から国による生産数量目標配分が廃止されることです。新潟県からは新潟米の生産目標の市町村別内訳が示され、それを受け新潟市の再生協議会で生産目安を提示することになったとはいえ、米の直接支払交付金も廃止となることから、大きく混乱するのではないかと危惧しているところです。今後、生産現場の不安払拭のためにも、国に何かしら関わってもらう必要があるのではないかと感じています。

このような状況の中、喜ばしい出来事としましては、4月に農林水産大臣登録29号として、西区のくろさき茶豆が地理的表示GI保護制度に登録されたことです。GI登録は新潟県内では初めてであり、枝豆では全国で初めてとなります。今後このことがはずみになり、西区の農家の皆さんの意欲や農産物の振興につながればうれしいかぎりです。

平成28年の農業委員会法の改正により西区農業委員会も新体制となったわけですが、多くの関係者の皆様方からご協力をいただき、農業委員会の主たる使命である「農地等の利用の最適化の推進」に向け体制も整ってきたところです。高齢化や担い手不足など大きな課題がありますが、今後も引き続き、私ども西区農業委員会は、地域の農業者が将来に夢と希望を持って農業に取り組めるよう、農業委員と農地利用最適化推進委員が力を合わせ一丸となって、与えられた任務のため全力を尽くすことをお誓い申し上げます。

結びに、平成30年が明るく希望に満ちた年となりますとともに、皆様方のご健康とご多幸をご祈念申し上げまして、新年のご挨拶といたします。

平成29年度視察研修に参加して

中野小屋地区農業委員
池田 一彦



11月9日、10日の2日間、農業委員会の視察研修に、総勢29名の委員とともに参加してきました。

初日は、群馬県伊勢崎市にある(株)カネコ種苗クニサダ農場を訪れ、直売所でお薦めの春秋野菜や研究内容について説明を受けました。また、西区特産の枝豆(湯あがり娘・初だるま)、ウイルスフリー苗のいもジェンヌ(べにはるか)などについて、品種の特性と使い分けのポイントと技術面について具体的に説明を受け、それに対して参加委員から盛んに質問が出されていました。その後、センター内の試験ほ場で、新品種の野菜や飼料作物を見学し、生食サラダでもよいハクサイ、ダイコン、レタスなどを試食してみると、そのうまさ、とろける甘さに驚きました。

2日目は、(株)カゴメ那須工場へ行き、カゴメの歴史を聞きました。愛知県で農業をしていた蟹江一太郎氏が1917年(大正6年)にトマト栽培を始め、今年で100年目になるそうです。工場は、敷地面積141,000㎡(東京ドーム約3倍)の広さで、野菜原料処理、缶、ペットボトル、紙パック



ク飲料の製造工程を行う近代的なハイテク工場を見学しました。機械のメンテナンスも入念に、品質の管理、検査も厳しくチェックされていました。新潟の契約農家からも原料を調達しており、種や苗を提供し、農薬使用・技術指導・出荷指導を行うそうです。

このたびの研修で、農業とは大地の恵みに感謝し、優良な農地で良い環境の中で、安心・安全な「食」を生産するという責任の重大さを感じました。

平成29年度女性セミナーが開講中

トピックス
(農業委員会関連)

第3回研修会



各区の女性農業者のみなさん

10月12日、13日に女性農業者15名で、栃木県那須方面へ視察研修に行ってきました。

1日目は、「道の駅 那須高原友愛の森 なすとらん」で9種類の地元食材を使った「なすべん」というランチプレートを食べながら、農家レストランを起業するまでの経緯や、現在の経営についての講和をいただきました。

2日目は、酪農とレストランを経営する(株)前田農場で、女性経営者から六次産業化を行うこととなった経緯や苦労話などをお聞きし、女性農業者の目線で、活発な意見交換が行われました。

第4回研修会

11月24日に女性農業者24名で、阿賀町の「山崎糰屋」を訪ねてお話を伺ってきました。

女将の山崎京子様から、糰の性質や活用法などについて学び、炊飯器で作る甘酒、塩糰、糰水の実演を見学しました。

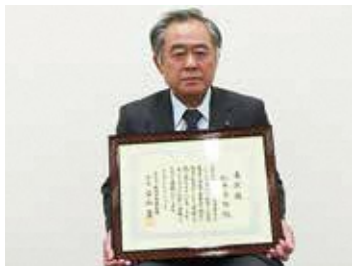
糰には高血圧や癌細胞の抑制、花粉症の予防、美肌などに効果があり、日々の食生活の中で、酵素を多く含む食品を摂取することが、とても大切であるということを再認識させられる興味深いお話でした。



阿賀町の山崎糰屋、
山崎京子様

(女性セミナー担当 中山)

農業委員20年以上表彰、市政功労表彰を受けました



(表彰状を手に、松井委員)

農業委員として20年以上勤務し、地域農業の発展と農業者の地位向上に寄与したとして、松江市雄農政振興部会長が、新潟県農業会議から勤続20年表彰を受けました。地元からの信任を受け、農業者年の金加入促進、新規農業参入にかかわる農政振興施策について、これからも鋭意、活躍されるものと期待されています。



(左から、丸山、高井、渡部、笠原明夢西区長、清水各委員)

11月26日、中央区のホテルイタリヤ軒で、市政功労者に対する表彰が行われました。西区農業委員会からは、渡部藤四夫会長職務代理、高井利明農政振興部会長職務代理、清水章平推進委員、丸山和秀推進員の4名の方が、新潟市長より表彰を受けました。

西区の風景

黒鳥ふれあい農業まつりが開催されました



10月1日(日)、黒崎南部公民館で、黒鳥ふれあい農業まつりが行われました。軽トラックいっぱい積まれた農産物の直売は大盛況。新米コシヒカリと新潟県が期待を寄せる新品種「新之助」の予約受付もあり、農家と共に収穫を祝おうと、遠方からも消費者が集まっていました。

いもジェンヌをPR!!



11月18日(土)、19日(日)JA新潟みらいファーマーズマーケット「いっぺこ〜と」で「いもジェンヌまつり」が行われました。西区の特産農産物である新潟砂丘さつまいも「いもジェンヌ」の生芋や焼芋のほか、スイーツ等の販売を通して、いもジェンヌの知名度向上と消費拡大を図るため、企画されたものです。

重要 償却資産(固定資産税)の申告が必要です!

ビニールハウスや農機具(自動車税・軽自動車税の対象を除く)など事業のために所有している資産は、確定申告とは別に固定資産税の申告が必要です。

1月1日現在の所有状況を記載した申告書を忘れずに市の固定資産税の窓口にご提出ください。詳しくは下記までお問い合わせください。

提出期限
平成30年
1月31日(水)

お問い合わせ・申告先

新潟市 市税事務所 資産税課 償却資産係
〒951-8550 新潟市中央区学校町通1番町602番地1
電話 025-226-2277 (直通)
Mail shisanzei.to@city.niigata.lg.jp



全国農業新聞で情報先取り!

農業経営とくらしに役立つ
全国農業新聞を購読しましょう!!

☆毎週金曜日発行
購読料月額700円
お申込みは、農業委員・農地利用最適化推進委員、又は西区農業委員会事務局
(TEL 025-264-7311)